Kids Safety Map

子ども安全・安心マップ

※本マップはおおむね高学年向けの内容となっておりますので、低学年のお子様には、おうちの方が一緒にご覧いただきご説明をお願いします。

守口市

●安全マップの作り方

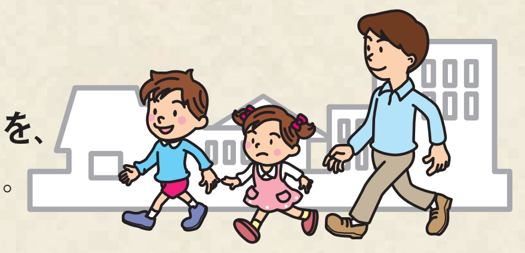
自分の安全マップを作ろう!

身の回りの危険な場所と安全な場所を調べてみよう。

◎この冊子の他に用意するもの◎

鉛筆・マーカー・メモ帳・カメラ

みる



●通学路や、いつもの遊び場など気になる場所を、家の人や友だちといっしょに歩いて見てみよう。

とる

●気になる場所は写真をとって、地図と照らし合わせてみよう。

※保護者の方へ／写真をとることで小さいお子さんも興味をもって楽しくマップを作ることができます。ただし肖像権や個人情報の保護には留意してください。

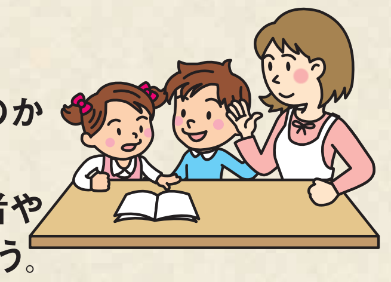
かく

（地図へのくわしい書き方は下ページを見てね）

●目印になる建物を書きこもう（自宅・学校・友だちの家・塾・公園・お店など）

●危険な場所には×、いざという時に逃げ込める安全な場所には○を書きこもう。

はなしあう



●地図を見ながら、どういう所でどんな事が起きやすいのか話し合おう。

●よく行く場所への通り道を決めておくと安心だよ。不審者や怪しい車がある場合などに通る予備の道も相談しておこう。

防災チェック 防災意識をチェックしよう!

身近なことでも忘れていないかな？身のまわりをもう一度見直してみよう。

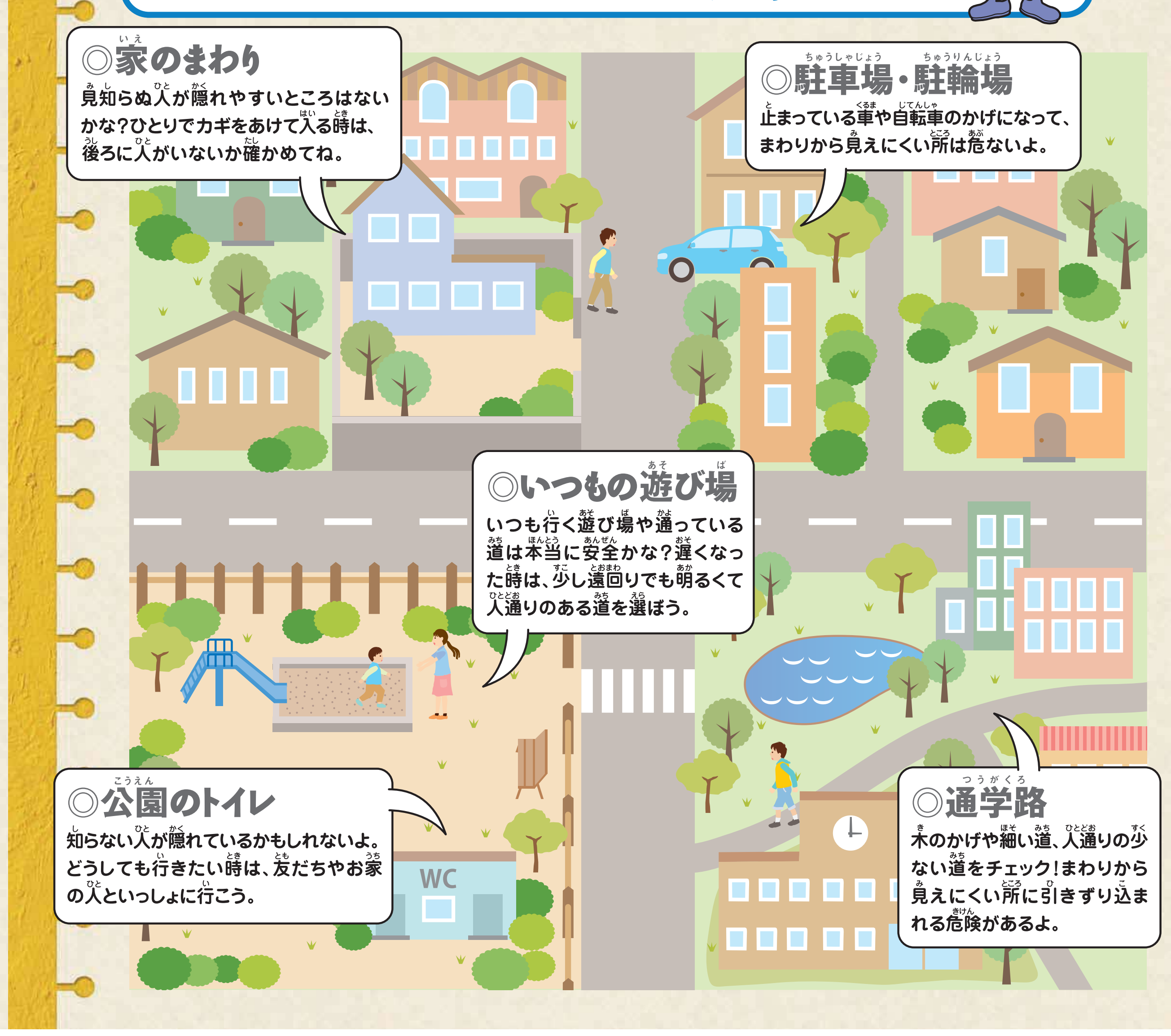
☐ 通学路の安全を確認している。
☐ 避難場所を知っている。
☐ 避難場所までの道を確認している。
☐ お家の人と協力体制について話し合っている。
☐ 連絡方法や集合場所を家族で決めている。
☐ 家の中の安全な場所を確認している。
☐ 非常食を準備している。
☐ 部屋の家具が倒れないように固定してある。
☐ 高い所に重いものを置いていない。
☐ 消火器を常備している。
☐ 寝る前に火の元を確認している。
☐ 「お・か・し・も」ということばを知っている。

チェックの数 □ 個

防犯 ●身の回りの危険を知ろう

身近な場所でも気をつけて!!

キミたちのまわりには、実はたくさんの危険が隠れている。
身近な場所ではどんな所が危ないかな？まずは考えてみよう!



◎家のまわり
見知らぬ人が隠れやすいところはないかな？ひとりでカギをあけて入る時は、後ろに人がいないか確かめてね。

◎駐車場・駐輪場
止まっている車や自転車のかげになって、まわりから見えにくい所は危ないよ。

◎いつもの遊び場
いつも行く遊び場や通っている道は本当に安全かな？遅くなった時は、少し遠回りでも明るくて人通りのある道を選ぼう。

◎公園のトイレ
知らない人が隠れているかもしれないよ。どうしても行きたい時は、友だちやお家の人といっしょに行こう。

◎通学路
木のかげや細い道、人通りの少ない道をチェック！まわりから見えにくい所に引きずり込まれる危険があるよ。

防犯チェック 危ない所をチェックしよう!

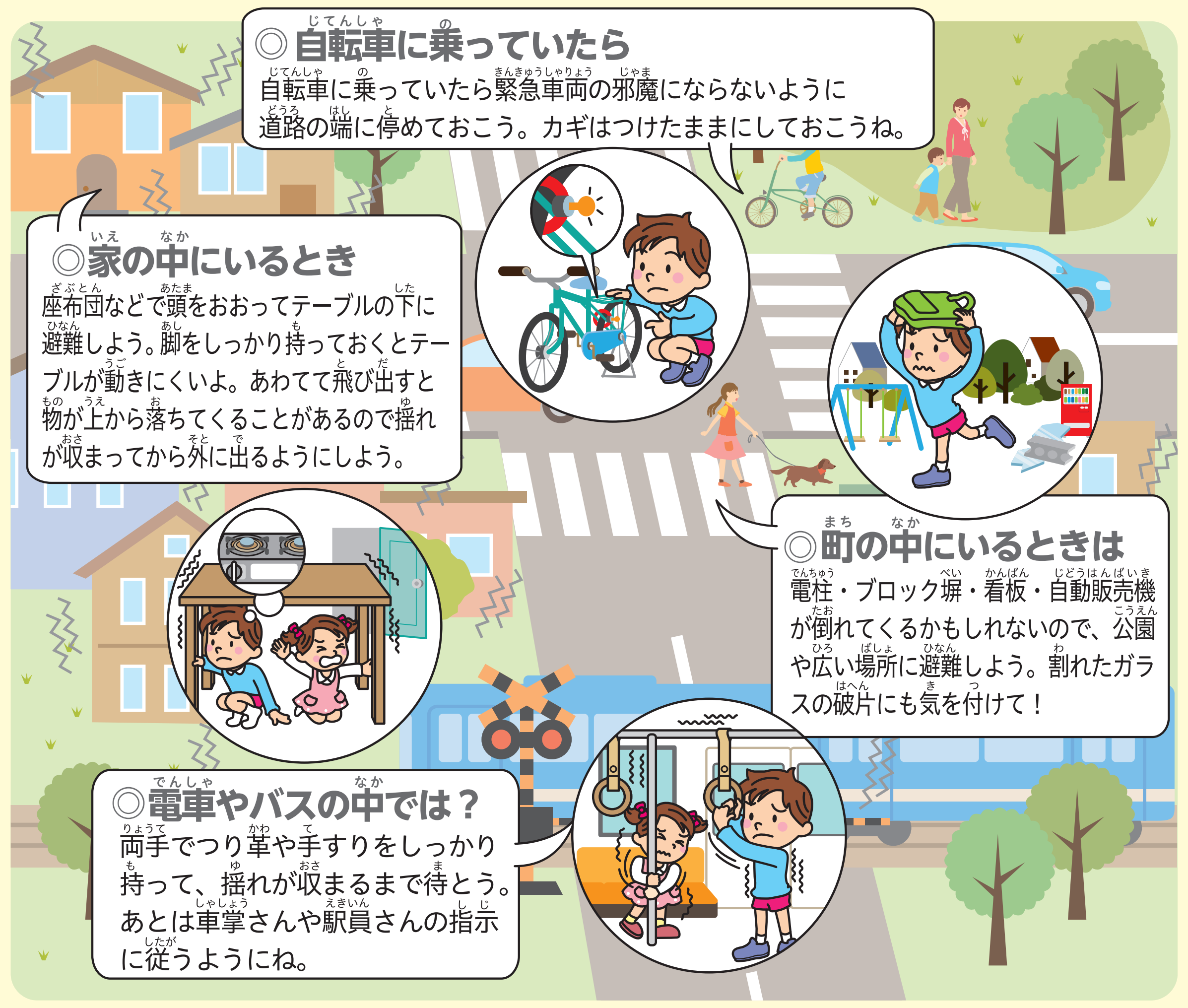
☐ 人通りが少ない道
☐ 木が多くて暗い公園や神社
☐ 夜に明かりが少ない道
☐ まわりから見えにくい駐車場
☐ 空き室の多いビル
☐ 公園内のトイレやその裏
☐ 人が住んでいない荒れた家
☐ ビルの暗い入口や脇の陰
☐ 線路脇や地下道
☐ 縦列駐車が多い道
☐ 落書きが放置された長い壁のある場所
☐ ゴミが散乱している場所
☐ 放置自転車が多い道
☐ 歩道がない細い道
☐ 信号がない交差点

チェックの数 □ 個

地震のとき

大きな地震が起きたら!!

地震が起きたら、まずあわてず身の安全を確保しよう。



◎自転車に乗っていたら
自転車に乗っていたら緊急車両の邪魔にならないように道路の端に停めておこう。カギはつけたままにしておこうね。

◎家の中にいるとき
座布団などで頭をおおってテーブルの下に避難しよう。脚をしっかり持っておくとテーブルが動きにくいよ。あわてて飛び出すと物が上から落ちてくることがあるので揺れが収まってから外に出るようにしよう。

◎町の中にいるときは
電柱・ブロック塀・看板・自動販売機が倒れてくるかもしれないので、公園や広い場所に避難しよう。割れたガラスの破片にも気を付けて！

◎電車やバスの中では？
両手でつり革や手すりをしっかり持って、揺れが収まるまで待とう。あとは車掌さんや駅員さんの指示に従うようにね。

防災豆知識 日頃から備えておこう!

●災害時には水が出なくなることもあるよ。日頃からお風呂の浴槽に水を張っておけば、トイレなどの生活用水としても使えるよ。

●枕元には、懐中電灯・スリッパ・タオル・笛を置いて寝よう。急に避難する時にもあわてずにすむよ。

スリッパは、ガラスの破片などから足を守るよ。

タオルは、口や鼻をおおうなど、色々活用できるよ。

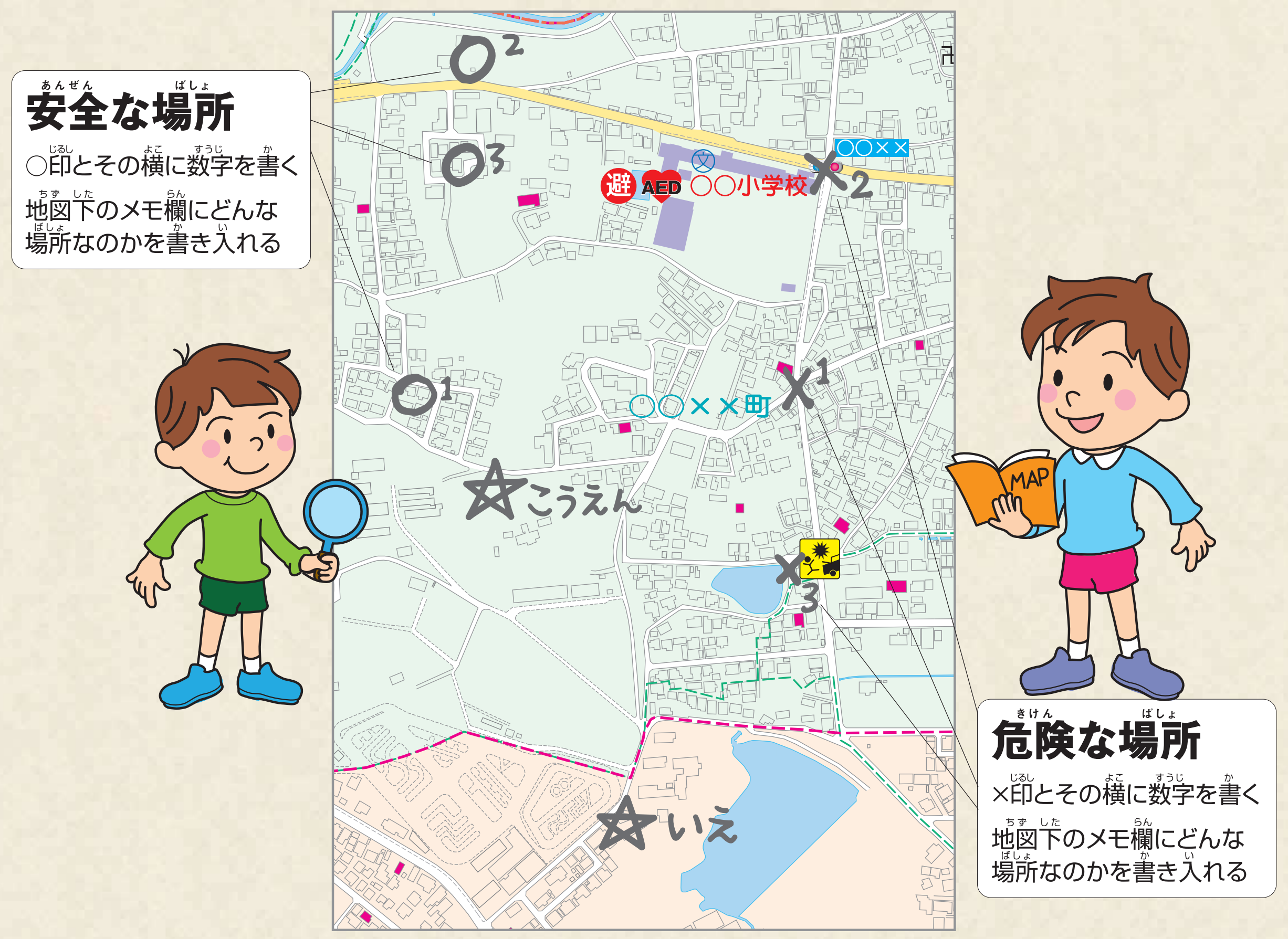
笛は、家族とはぐれた時に自分の居場所を伝える事ができるよ。

●避難用リュックサックにつめる荷物は、最低限必要な物を準備し、重すぎないようにしよう。

地図への書き込み方（例）

×危険な場所
人通りが少ない道、木が多くて暗い公園や神社、夜に明かりが少ない道、まわりから見えにくい駐車場、空き室の多いビル、公園内のトイレやその裏、人が住んでいない荒れた家、ビルの暗い入口や脇の陰、線路脇や地下道、縦列駐車が多い道、落書きが放置された長い壁のある場所、ゴミが散乱している場所、放置自転車が多い道、歩道がない細い道、信号がない交差点など

○いざという時に逃げ込める安全な場所
子ども110番の家や防犯連絡所、お店やコンビニエンスストア、病院、銀行、郵便局、学校など、常に人がいて信頼できる場所、友だちや知っている人の家など



安全な場所
○印とその横に数字を書く
地図下のメモ欄にどんな場所なのかを書き入れる

危険な場所
×印とその横に数字を書く
地図下のメモ欄にどんな場所なのかを書き入れる

防災豆知識 「災害用伝言ダイヤル171」

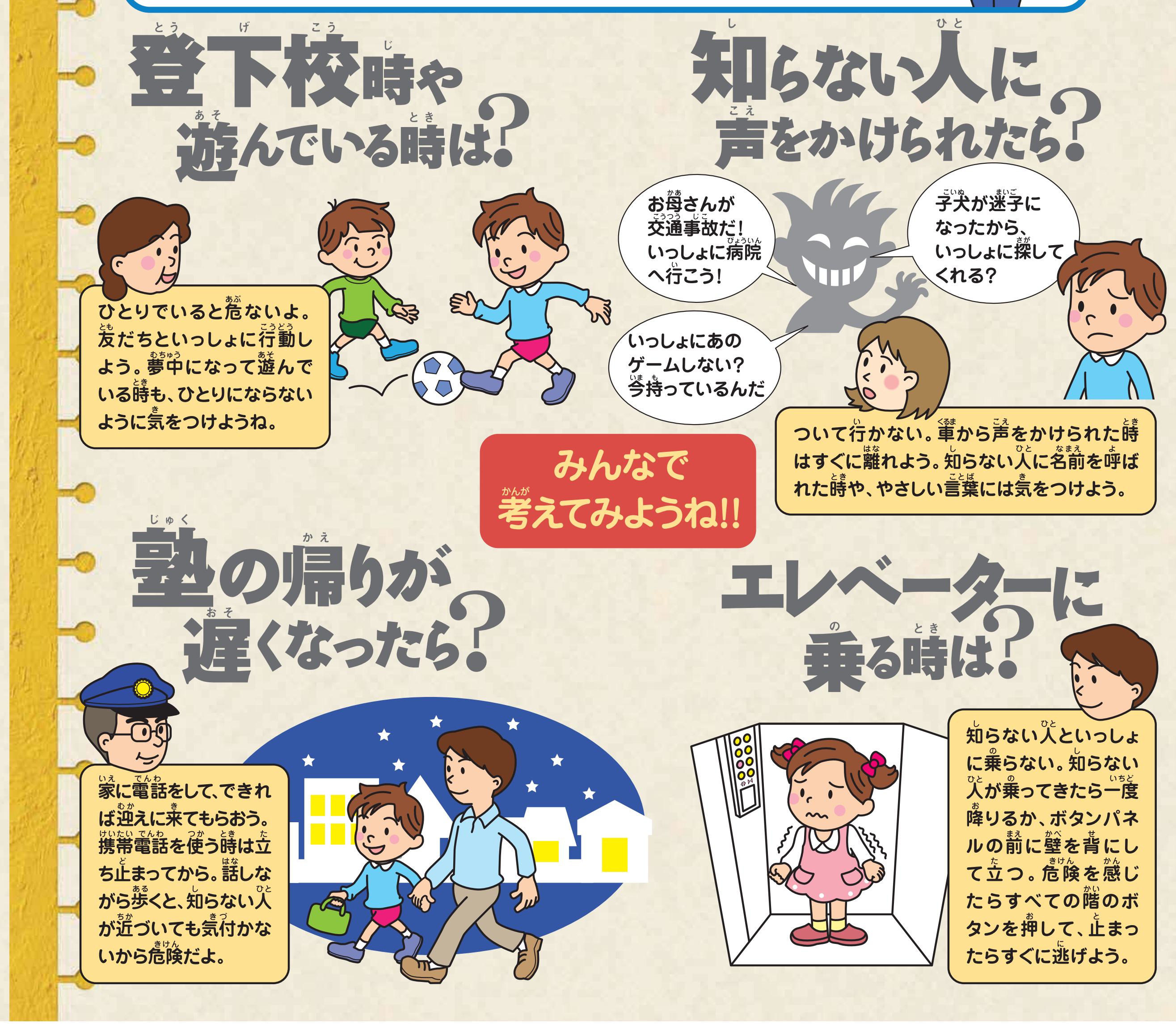
災害で電話がつながりにくい状態になった時に利用できる伝言サービス。安否の確認や緊急連絡に便利です。

【使い方】忘れて イ ナ イ？ 1 7 1 にダイヤルする → 伝言を録音する時は 1 ／ 伝言を再生する時は 2 → 連絡をとりたい人の電話番号 (○○○)○○○-○○○○ → メッセージを話す ／ メッセージを聞く

防犯 ●身の回りの危険を考えよう

こんな時はこうしよう!!

危険から身を守るためには、ふだんの心がまえも大切なんだよ。
こんな時、キミだったらどうする？


お母さんが交通事故だ！いっしょに病院へ行こう！
子犬が迷子になったから、いっしょに探してくれる？
いっしょにあのゲームしない？今持っているんだ

登下校時や遊んでいる時は？

ひとりでいると危ないよ。友だちといっしょに行動しよう。夢中になって遊んでいる時も、ひとりにならないように気をつけようね。

知らない人に声をかけられたら？

ついて行かない。車から声をかけられた時はすぐに離れよう。知らない人に名前を呼ばれた時や、やさしい言葉には気をつけよう。

みんなで考えてみようね!!

塾の帰りが遅くなったら？

家に電話をして、できれば迎えに来てもらおう。携帯電話を使う時は立ち止まってから。話しながら歩くと、知らない人が近づいても気付かないから危険だよ。

エレベーターに乗る時は？

知らない人といっしょに乗らない。知らない人が乗ってきたら一度降りるか、ボタンパネルの前に壁を背にして立つ。危険を感じたらすべての階のボタンを押して、止まったらすぐに逃げよう。

防犯チェック できているかチェックしよう!

☐ 家や外で元気にあいさつをしている。
☐ 出かける時は、だれとどこで何をして何時に帰るのかをお家の人に伝えている。
☐ 帰りが遅くなった時は、お家に連絡を入れている。
☐ 外では一人にならないよう注意している。
☐ 暗いところや、人通りのないところは避けて通るように気を付けている。
☐ 大きな声で「助けて」と言うことができる。
☐ 防犯ブザー・ホイッスルなどの防犯グッズを持っていて、使い方がわかる。
☐ 知らない人から声をかけられたり、不審な人や車を見たり、おかしいと感じた時にはお家の人に知らせている。
☐ 通学路の危ない所と安全な所をお家の人と歩いてみた。
☐ いざという時に逃げ込む場所を決めている。

チェックの数 □ 個

防災対策チェック

防災対策チェック!!

災害はいつ起こるか分からないよ。自分でできることを知っておこう。

家族みんなで防災会議をしてみよう
災害が起こったときに家族みんなが一緒にいるとは限らないよ。家族みんなで防災会議をして、いざというときの待ち合わせ場所を決めておこう。

家の中の安全対策
◎ドアの出入り口の近くに物を置かないようにしよう。
◎寝る場所や避難経路に家具が倒れないようにしよう。
◎重いものは、高い位置に置かないようにしよう。
◎ガラスには、割れたときに飛び散らないようフィルムを貼ると安心だよ。

避難するとき
◎一人ではなく大人と一緒に避難しよう。
◎不要な荷物は持たずに歩きやすい靴をはいて避難しよう。
◎できるだけ広い道路を使おう。
◎自宅近くの避難所を普段からチェックしておこう。

保護者の方へ

防災訓練に参加しましょう。
災害への対策は日頃の備えが重要です。あらかじめ連絡方法などを家族みんなで決めておきましょう。
また、地域で防災訓練があれば積極的に参加しましょう。

家族の防災会議で決まったこと（待ち合わせ場所・連絡方法など）

非常持出品

被災時・非常時にまず持ち出すもので、最初の一日をしのぐために必要なものです。できるだけコンパクトにまとめて避難袋やリュックに入れ、玄関など場所を決めて準備しておきましょう。

	チェック欄	品名	備考メモ
貴重品類		現金（10円玉）	10円玉は公衆電話用に。通帳、カード、健康保険証、運転免許証、個人番号カードなどは番号を控えたメモかコピーを用意しておくとよいでしょう。
		預金通帳	
		印鑑	
		保険証	
		免許証	
		個人番号カード	
避難用具		懐中電灯	懐中電灯はできれば1人に一つ用意したいもの。
		携帯ラジオ	
		予備の乾電池	
		ヘルメット・防災ずきん	
生活用品		厚手の手袋	避難所生活に最低限必要なものです。赤ちゃんやお年寄り、障がい者がいる場合など考慮してそろえましょう。
		毛布	
		缶切り	
		ライター・マッチ	
		ナイフ	
		歯ブラシ（歯磨き粉）	
		携帯用トイレ	
救急用具		救急箱	救急箱には絆創膏・消毒液など。その他ビタミン剤など日頃使っているサプリメントなどもあるとよいでしょう。
		処方箋の控え	
		胃腸薬・便秘薬・持病の薬	
非常食品		乾パン	そのままで食べられるものが便利です。
		缶詰	
		栄養補助食品	
		アメ・チョコレート	
		飲料水	
衣料品		下着・靴下	衣類は動きやすいものを選びましょう。セーターなどの防寒具も寒い季節には役立ちます。
		長袖・長ズボン	
		防寒用ジャケット・雨具	
その他		携帯用カイロ	寒い季節に役立ちます。

家族構成や家庭の事情に合わせて準備しておくもの

	チェック欄	品名
必需品貴重品		現金
		車や家の鍵
		携帯電話・充電器（バッテリー予備があれば安心）
		眼鏡・コンタクト用品
		補聴器
女性用品		生理用品
		鏡・ブラシ
		化粧品
乳幼児用品		粉ミルク又は液体ミルク
		哺乳瓶・洗浄剤
		離乳食
		紙おむつ・ウェットティッシュ
		着替え
		バスタオル・ガーゼ
		母子手帳
		ベビーカー・おんぶひも
高齢者用品		おむつ・着替え
		持病薬・杖
		入れ歯・洗浄剤